



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,035	15.4	1,565	16.6	1,761	14.5	1,222	26.1
2020年3月期第3四半期	16,587	10.7	1,877	14.5	2,059	12.8	1,653	13.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,464百万円 (0.2%) 2020年3月期第3四半期 2,458百万円 (263.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	60.99	
2020年3月期第3四半期	82.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	44,418	38,279	86.2	1,909.22
2020年3月期	41,809	36,398	87.1	1,815.37

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,279百万円 2020年3月期 36,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		14.00			
2021年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期の第2四半期末および期末配当金15円には、普通配当14円に、当社の前身である柳澤有機化学工業所の創業80年記念配当1円が含まれております。

#### 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,290	15.0	1,900	20.0	2,100	18.6	1,400	29.2	69.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	20,680,000 株	2020年3月期	20,680,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	630,004 株	2020年3月期	629,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	20,050,094 株	2020年3月期3Q	20,048,772 株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式(2021年3月期第3四半期85,502株、2020年3月期33,502株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、昨年度後半からの米中貿易戦争の影響に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大(以下、コロナ禍といいます。)により、海外経済が急激に落ち込み、国内においても緊急事態宣言の発出により、経済活動が大きく制約を受けました。その後、コロナ禍が一旦収束に向った年半ば以降、日本を含め世界的に経済活動が再開され、輸出及び国内外の自動車需要が回復したこと等を背景に重い足取りながら持ち直しの動きを見せてきました。しかしながら、冬季を迎えて再度のコロナ禍により、日本においても緊急事態宣言が再発出される状況になる等、一向にその収束の目途が立たないことから景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは様々なコロナ禍防止策を講じ、生産活動等に支障を及ぼさないように努めてまいりました。また、厳しさを増した事業環境のなか、業績の再浮上を図るべく、新製品・新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大及び新規ユーザーの開拓に取り組むとともに、コスト・経費の引き下げ、ITを活用した業務の効率化、生産拠点や生産工程の最適化等の生産性向上による価格競争力の向上と低コスト体質の強化にも引き続き取り組んでまいりました。

第3四半期に入り、前述の事業環境から幾分持ち直したものの、第2四半期までのコロナ禍の影響等を主因に、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比2,551百万円15.4%減の14,035百万円、営業利益は前年同四半期比311百万円16.6%減の1,565百万円、経常利益は前年同四半期比298百万円14.5%減の1,761百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比430百万円26.1%減の1,222百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

#### [薬品事業]

主力の薬品事業は、引き続き厳しい事業環境下、ウェブを活用した商談を行う等、一定の制約のなかで徐々に営業活動を再開するとともに、前述の事業環境回復や非鉄金属相場の上昇傾向を背景に、第3四半期には業績持ち直しの兆しが見られましたが、第2四半期までの生産数量、販売数量の落ち込みによる業績低下を補うことはできず、売上高は前年同四半期比2,303百万円16.8%減の11,436百万円となりました。

利益面では、非鉄金属相場の上昇傾向と第3四半期に入り、生産数量も幾分持ち直したことに加え、コロナ禍での活動自粛に伴う経費減少を含むコスト・経費引き下げ及び一部生産性向上は実現できたものの、売上高と同様に第2四半期までの国内における売上高の減少等により、営業利益は前年同四半期比208百万円13.7%減の1,319百万円となりました。

#### [建材事業]

建材事業は、昨年度まで業績は堅調に推移しており、更なる業績拡大のため、販路拡大、非住宅分野への進出にも取り組んでまいりました。年半ば以降の営業活動の再開とともに第2四半期後半から徐々に主力の住宅建材を中心に回復に向かいましたが、第2四半期までのコロナ禍による住宅着工の遅れや当社及び取引先の営業活動が制約を受けたことに加え新製品等が伸び悩んだことから、売上高は前年同四半期比248百万円8.7%減の2,598百万円、営業利益も前年同四半期比121百万円14.6%減の709百万円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結累計期間における流動資産は、たな卸資産は減少したものの、現金及び預金、売上債権が増加したことにより、前連結会計年度末比1,054百万円増の25,732百万円となりました。一方、

固定資産は、有形固定資産が機械及び装置等の償却が進んだことから前連結会計年度末比 454 百万円減の 7,114 百万円となりましたが、保有株式の株価が上昇したことから投資その他の資産が前連結会計年度末比 2,016 百万円増の 11,372 百万円となったことにより、前連結会計年度末比 1,554 百万円増の 18,686 百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比 2,609 百万円増の 44,418 百万円となりました。一方、流動負債は、未払法人税等が減少したものの、仕入債務及び短期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末比 74 百万円増の 4,600 百万円となり、固定負債も有価証券評価差額金増加に伴う繰延税金負債が増加したことにより前連結会計年度末比 653 百万円増の 1,538 百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比 727 百万円増の 6,138 百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 1,881 百万円増の 38,279 百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 87.1%から 86.2%となりました。

(3) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、コロナ禍による緊急事態宣言再発出で第4四半期の事業環境は依然として不透明ではありますが、現在までのところ概ね予想の範囲内で推移しているため、2020年11月6日公表の予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,152,897	15,436,651
受取手形及び売掛金	6,241,602	6,444,502
商品及び製品	1,328,387	1,362,169
仕掛品	1,052,888	739,710
原材料及び貯蔵品	1,802,931	1,668,707
その他	100,838	82,193
貸倒引当金	△1,440	△1,410
流動資産合計	24,678,105	25,732,525
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,269,052	1,988,416
その他(純額)	5,299,675	5,125,729
有形固定資産合計	7,568,728	7,114,145
無形固定資産		
	206,481	199,787
投資その他の資産		
投資有価証券	5,889,735	7,898,411
繰延税金資産	1,241	3,676
その他	3,466,550	3,471,563
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	9,355,957	11,372,081
固定資産合計	17,131,166	18,686,014
資産合計	41,809,272	44,418,539
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,383,018	2,540,006
短期借入金	391,000	664,000
未払法人税等	398,032	263,289
賞与引当金	390,000	175,000
役員賞与引当金	30,000	22,500
その他	933,869	935,416
流動負債合計	4,525,920	4,600,212
固定負債		
繰延税金負債	492,314	1,115,701
退職給付に係る負債	308,526	313,205
役員株式給付引当金	33,584	49,188
資産除去債務	600	600
環境対策引当金	-	10,828
その他	49,977	49,011
固定負債合計	885,002	1,538,534
負債合計	5,410,923	6,138,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,029,965	1,059,147
利益剰余金	33,092,963	33,733,475
自己株式	△362,294	△391,612
株主資本合計	34,794,634	35,435,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,290,188	2,677,552
為替換算調整勘定	406,587	228,982
退職給付に係る調整累計額	△93,061	△61,752
その他の包括利益累計額合計	1,603,714	2,844,782
純資産合計	36,398,349	38,279,793
負債純資産合計	41,809,272	44,418,539

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	16,587,134	14,035,225
売上原価	12,644,155	10,528,824
売上総利益	3,942,978	3,506,401
販売費及び一般管理費	2,065,085	1,940,475
営業利益	1,877,893	1,565,925
営業外収益		
受取利息	10,309	8,310
受取配当金	117,608	121,790
不動産賃貸料	52,690	54,346
為替差益	-	6,515
その他	58,538	44,549
営業外収益合計	239,147	235,511
営業外費用		
支払利息	7,217	6,248
売上割引	5,224	4,028
賃貸収入原価	30,636	30,026
為替差損	14,191	-
その他	16	106
営業外費用合計	57,286	40,409
経常利益	2,059,754	1,761,027
特別利益		
固定資産売却益	596	14
子会社清算益	74,581	-
補助金収入	699,498	-
特別利益合計	774,677	14
特別損失		
固定資産除却損	22,798	8,221
環境対策引当金繰入額	-	10,828
固定資産圧縮損	508,362	-
特別損失合計	531,161	19,049
税金等調整前四半期純利益	2,303,270	1,741,991
法人税等	649,445	519,055
四半期純利益	1,653,824	1,222,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,653,824	1,222,936



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	1,653,824	1,222,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	777,837	1,387,363
為替換算調整勘定	15,232	△177,604
退職給付に係る調整額	12,005	31,309
その他の包括利益合計	805,075	1,241,067
四半期包括利益	2,458,900	2,464,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,458,900	2,464,004
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,740,377	2,846,756	16,587,134	—	16,587,134
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,740,377	2,846,756	16,587,134	—	16,587,134
セグメント利益	1,527,867	831,026	2,358,894	△481,000	1,877,893

(注)1. セグメント利益の調整額△481,000千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,436,579	2,598,646	14,035,225	—	14,035,225
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,436,579	2,598,646	14,035,225	—	14,035,225
セグメント利益	1,319,200	709,497	2,028,698	△462,772	1,565,925

(注)1. セグメント利益の調整額△462,772千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。